

金沢北陵高校の生徒として

金沢北陵高校では、「時を守り、場を清め、礼を正す」をスローガンに、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を身につけた創造性豊かな人間の育成を目標としています。

入学する生徒全員が充実した高校生活を送り、希望する進路に進めるよう、まずは基本的生活習慣を確立することが大切です。求人をしていただく企業の方々をはじめ社会全体がみなさんの行動に注目しています。以下のきまりを守り、「北陵生＝社会で求められる人材」となれるよう、自覚をもって行動しましょう。

1. 服装について

(1) 制服

- ① 本校指定の制服を着用する。

※1年次生は、新制服。

- ② 制服の加工・変形は禁止する。
- ③ やむを得ず制服以外の衣類を着用する場合には、異装届を提出する。

(2) 靴下

<男子>

- ① 白・黒・紺・グレー等の落ち着いた色で、無地またはワンポイントのものを着用する。

<女子>

- ① 白・黒・紺・グレー等の落ち着いた色で、無地またはワンポイントのものを着用する。
- ② ハイソックスは可とするが、極度に長いもの（膝が隠れるもの）、ルーズソックスは禁止する。

(3) 靴

- ① 通学にふさわしい革靴、運動靴等を使用する。

(4) セーター・ベスト・カーディガン（2・3年次生）

- ① 冬服期間中、制服だけでは寒い場合にセーター・ベスト・カーディガンの着用を認める。ただし、黒・紺・グレー・白の無地、無柄のものとする。
- ② 襟はVネックで、ブレザーから裾が出ない長さとする。
- ③ 本校指定のセーターを着用してもよい。

(5) 1年次生は、本校指定のセーターを着用する。

(6) 防寒着

- ① 冬服期間中、制服だけでは寒い場合には防寒着の着用を認める。なお、登下校時のみの着用とする。
- ② 高価なものや遊び着的な要素をもつものは禁止する。

(7) 衣替え

期 間	服 装	備 考
4月1日 ～ 5月中旬	冬 服	必ずブレザーを着用
5月中旬 ～ 6月30日	移行期間	原則夏服とするが、長袖シャツ、指定セーター、ブレザーの着用を認める
7月1日 ～ 8月31日	夏 服	エアコンによる寒さ調整のため、教室内での指定セーター、ブレザーの着用を認める
9月1日 ～ 10月中旬	移行期間	原則夏服とするが、長袖シャツ、指定セーター、ブレザーの着用を認める
10月中旬 ～ 3月31日	冬 服	必ずブレザーを着用

2. 頭髪等について

- (1) 男女ともに前髪が目にかからない長さとし、学校生活はもとより校外での活動や面接などにもふさわしい髪形にする。また、脱色・染色・加工変形は禁止する。
- (2) 化粧、眉の加工、まつ毛の加工、カラーコンタクト、マニキュアの使用などは禁止する。
- (3) ピアス、指輪、ネックレス、ブレスレットなどの装飾品の着用は禁止する。装飾品を着用していた場合は、一旦預かり保護者に返却する。
- (4) 整形手術は簡易なものを含めて禁止する。また、ピアスの穴をあけることも禁止する。

3. 所持品について

(1) 鞆

- ① 通常の登下校時には、必ず鞆を持参する。
- ② 使用する鞆は特に指定していないが、学習用具を持ち運ぶのにふさわしいものとする。防犯のためファスナーなどで入れ口が閉まるものを使用する。

(2) スマートフォン

- ① 学校敷地内は使用禁止とする。校舎内は、電源を切り、貴重品として生徒玄関ロッカーにカギをかけ保管する。
- ② 学校敷地内での使用があった場合は、生徒指導課で1日預かる。3回目に達した場合は、保護者に返却する。
- ③ 試験中の所持については、特別指導の対象とする。
- ④ ただし、休業日の部活動で必要な場合、顧問の許可を得て使用することができる。
- ⑤ スマートウォッチについても、スマートフォンと同様の扱いとする。

(3) 貴重品の管理

- ① 金品などの貴重品は、常に身につける。または、ホーム担任に預けるか、個人ロッカーにカギをかけるなどして保管する。
- ② ブランド品など高価なものを持参しない。

(4) その他

- ① 教科書・教材、制服（リボン・ネクタイ）など、自分の所持品には必ず記名する。
- ② 遊具（ゲーム機、音楽プレイヤー、トランプ等）など学校生活に不必要なものを持ち込まない。校内で所持していた場合は、一旦預かり保護者に返却する。

4. 通学について

- (1) 登下校は交通ルールを守り、交通事故には十分注意する。
- (2) 自転車の利用について
 - ① 本校所定のステッカーを自転車後部のタイヤカバーなどの見やすい場所に貼る。また、自転車保険に加入する。
 - ② カギは「二重ロック」するなど、盗難防止に努める。
 - ③ 学校では、学年ごとに定められた駐輪場に駐輪し、決して他の場所に駐輪しない。また、駅などの公共の駐輪場を使用する場合は、規則やマナーを守って使用する。
 - ④ ヘルメットを着用するよう努める。
- (3) 通学には、電動キックボードの利用を禁止する。
- (4) 電車、バスなど公共交通機関を利用する場合もマナーを守り、他人の迷惑となるような行為がないように注意する。
- (5) やむを得ぬ事情により、学校へ車で送迎してもらう場合は、坂道が狭く危険なので、坂の下までとする。校舎前までの送迎が必要な場合は、担任に申し出る。
- (6) 不審者に注意する
 - ① 日没後は集団で移動し、人気の少ないところを通らないようにするなど防犯に努める。
 - ② スマートフォンを操作しながら、あるいはヘッドホンで両耳をふさいだ状態で歩かない。
 - ③ 万が一、不審者に遭遇したら大声を出すなどして助けを呼び、警察に 110 番通報する。学校へも連絡する。

5. 犯罪及び犯罪被害の防止について

- (1) 外出について
 - ① 外出する際は、行き先・用件・同伴者・帰宅予定時刻などを家族に告げておく。
 - ② 深夜の外出、保護者またはこれに準ずる人を伴わない外泊については禁止する。
- (2) スマートフォンの使用について
 - ① 学習や生活に影響が出ないように、自分で時間を決めるなど、適切に使用する。
 - ② インターネットの利用にあたっては、SNS等に個人情報や特定できるような投稿をしない。また他人を誹謗・中傷する書き込みをしない。
 - ③ SNS等を通して知り合った人と実際に会ったり、画像のやりとりをしない。
 - ④ フィルタリングを絶対にはずさない。
- (3) 法令、校則で禁止されている行為をしない
 - ① いじめ、暴力、器物破損、窃盗・万引き、薬物乱用、飲酒、喫煙、深夜徘徊、性の逸脱行動等の問題行動を起こさない。

6. 交通事故およびその他の事故防止について

(1) 歩行者・自転車の事故防止

- ① 自転車の並列走行、二人乗り、無灯火、信号無視、傘さし運転、スマートフォン等の使用、ヘッドホンの使用等の運転は交通違反であり、絶対にしない。
- ② 交通ルール・マナーを守り、被害・加害がないように注意する。

(2) 自動車・バイクの事故防止

- ① 原付・自動二輪および自動車の運転は絶対にしない。また、友人・知人の運転する自動二輪車の後部座席にも乗車しない。
- ② なお、無断免許取得については厳しく対処する。

(3) 交通事故にあった場合

- ① 警察を呼び現場検証を受ける。
- ② 相手の氏名・電話番号、車のナンバーなどを確認しておく。
- ③ 学校に速やかに報告する。

7. アルバイトについて

- (1) 本校在学中は、学習、部活動などの学校生活に専念するものとし、アルバイトは原則として禁止する。無断無届アルバイトは特別指導の対象とする。
- (2) ただし、やむを得ない事情でアルバイトを希望する生徒は、ホーム担任に相談し、本校の許可を得る。(生徒指導課で許可証を発行する。)
- (3) 長期休業中については、学校への届け出によりアルバイトを認める。ただし、補習や部活動の妨げにならないようにする。(生徒指導課で許可証を発行する。)

8. 運転免許の取得について

- (1) 本校在学中は、バイク・自動車の運転免許取得および運転を禁止する。
- (2) ただし、3年生で進路先が内定した者に限り、学校への届け出により2学期中間試験以降、自動車学校の入校を認める。(生徒指導課で許可証を発行する。)
- (3) 免許取得後も本校在学中は運転を禁止する。

9. 「いしかわS&Pサポート制度」について

- (1) 「S&P」とは「スクール アンド ポリス」の略で、学校と警察が連絡や相談をおこなうことにより、生徒の非行防止および犯罪被害の防止とその健全育成を図ろうとするものである。
- (2) 本校生徒が何らかの形で犯罪や事故に関係し、警察事案になった場合、後日警察から学校へ連絡が入る。ただし、警察からの連絡は遅れるので、保護者と本人がすぐに学校に連絡する。